１．社会実験について

資料５

■古賀駅西口におけるまちづくりの方向性

ＪＲ古賀駅西口周辺では、**「「めぐる」をつくる―古賀駅西口の本質的再生へ　ウォーカブルなまちづくり―」をコンセプト**に、めぐり歩いて楽しいウォーカブルなまちづくりを推進

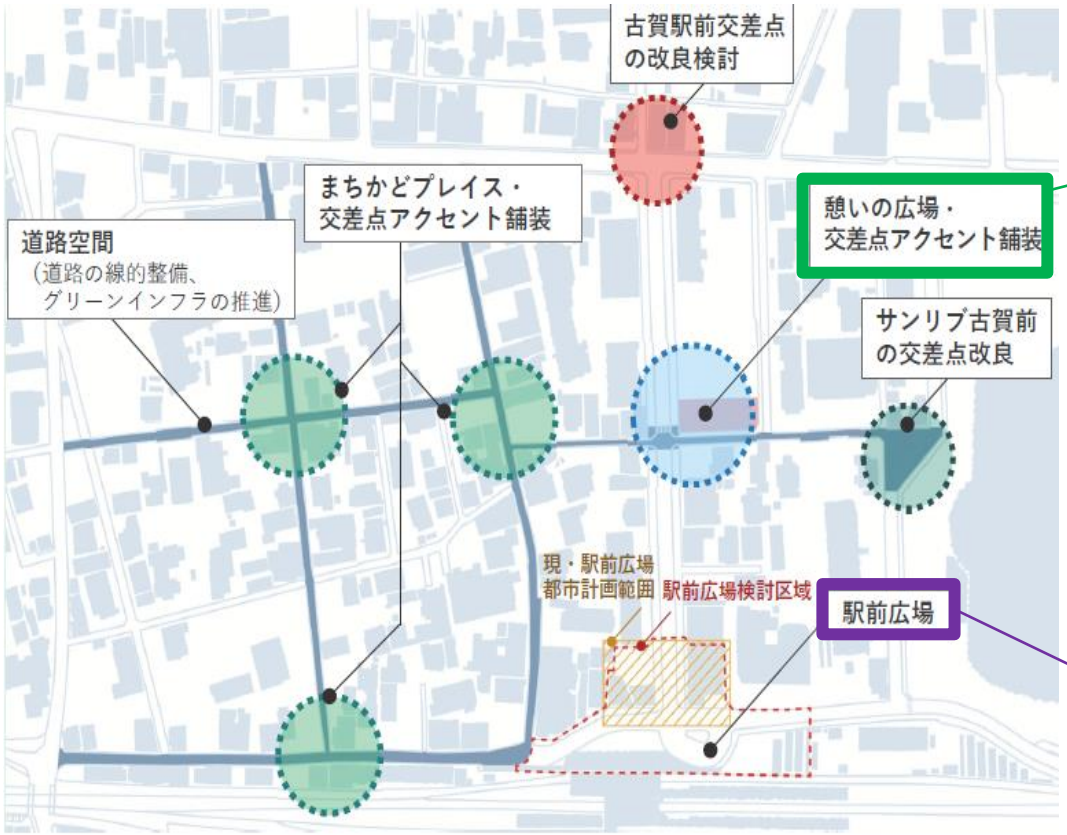
プレイスメイキング（点をつくる） ↔ 歩行者ネットワーク（点をつなぐ） ↔ エリアマネジメント（面に広げる）

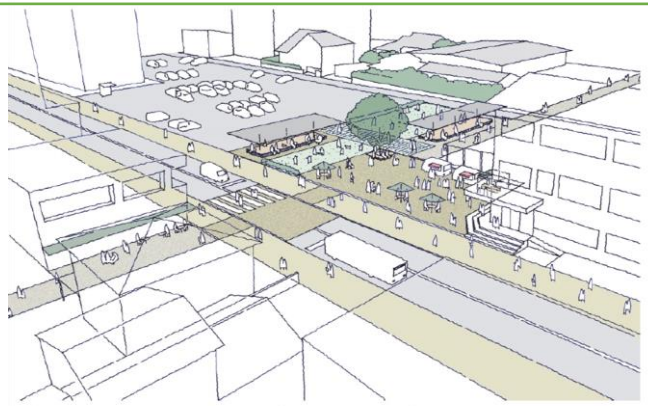


1．社会実験について

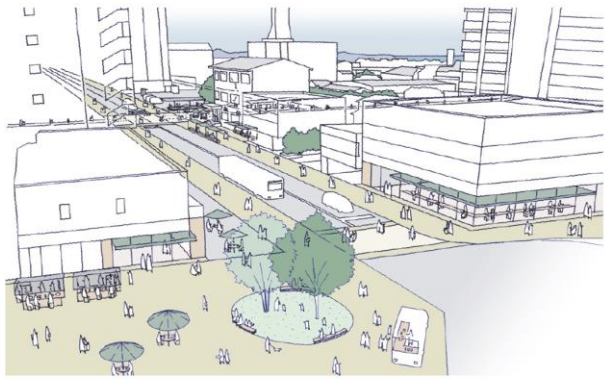
■古賀駅西口におけるまちづくりの方向性

【空間整備の対象】
駅前広場、憩いの広場、まちかどプレイス、道路空間
⇒人をまちなかへ導く駅前広場やより使いやすい空間整備に向けて社会実験を実施





②-１居場所となる点（憩いの広場）
・古賀駅、サンリブ古賀、南側市街地の歩行者の結節点として、憩いの広場を居心地がよく、様々な活動を誘発し、まちなかへ誘う拠点となる広場空間として再整備

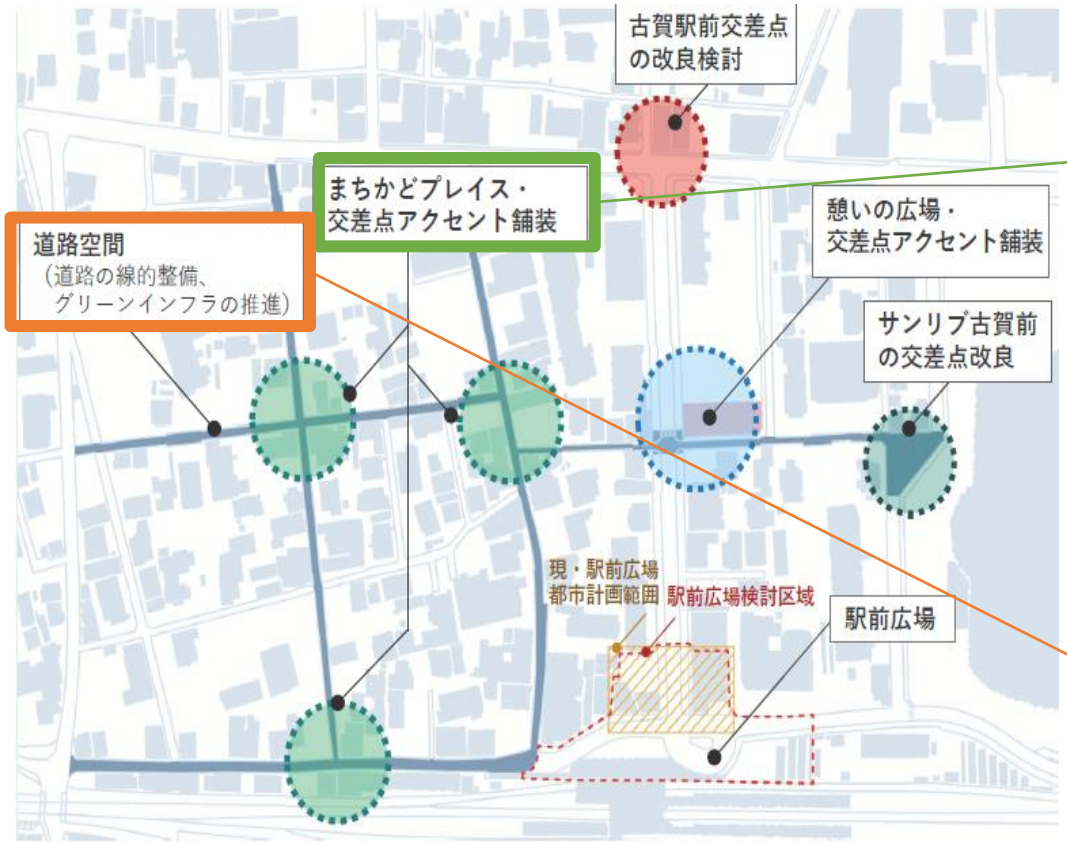


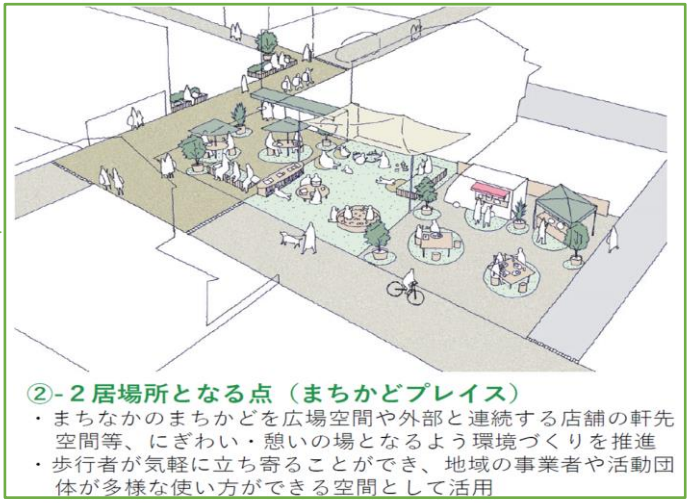
①駅前広場
・駅前広場を再整備し、自動車の必要な停車・駐車台数を確保するとともに、ゆとりある歩行者空間・待機場所を整備
・まちなかと高架駅舎との接続を強化
・自動車動線を再編し、通過交通を抑制

1．社会実験について

■古賀駅西口におけるまちづくりの方向性

【空間整備の対象】
駅前広場、憩いの広場、まちかどプレイス、道路空間
⇒人をまちなかへ導く駅前広場やより使いやすい空間整備に向けて社会実験を実施





②-２居場所となる点（まちかどプレイス）
・まちなかのまちかどを広場空間や外部と連続する店舗の軒先空間等、にぎわい・憩いの場となるよう環境づくりを推進
・歩行者が気軽に立ち寄ることができ、地域の事業者や活動団体が多様な使い方ができる空間として活用



③道路空間
・にぎわいの回遊動線を歩きやすく景観を考慮した舗装等に整備
・安全性を考慮した交差点アクセント舗装の整備や動線改善等の交差点部の改良
・各地点での交差点改良やグリーンインフラの推進検討

1．社会実験について

■令和８年度の社会実験の概要

【沿道利活用社会実験】

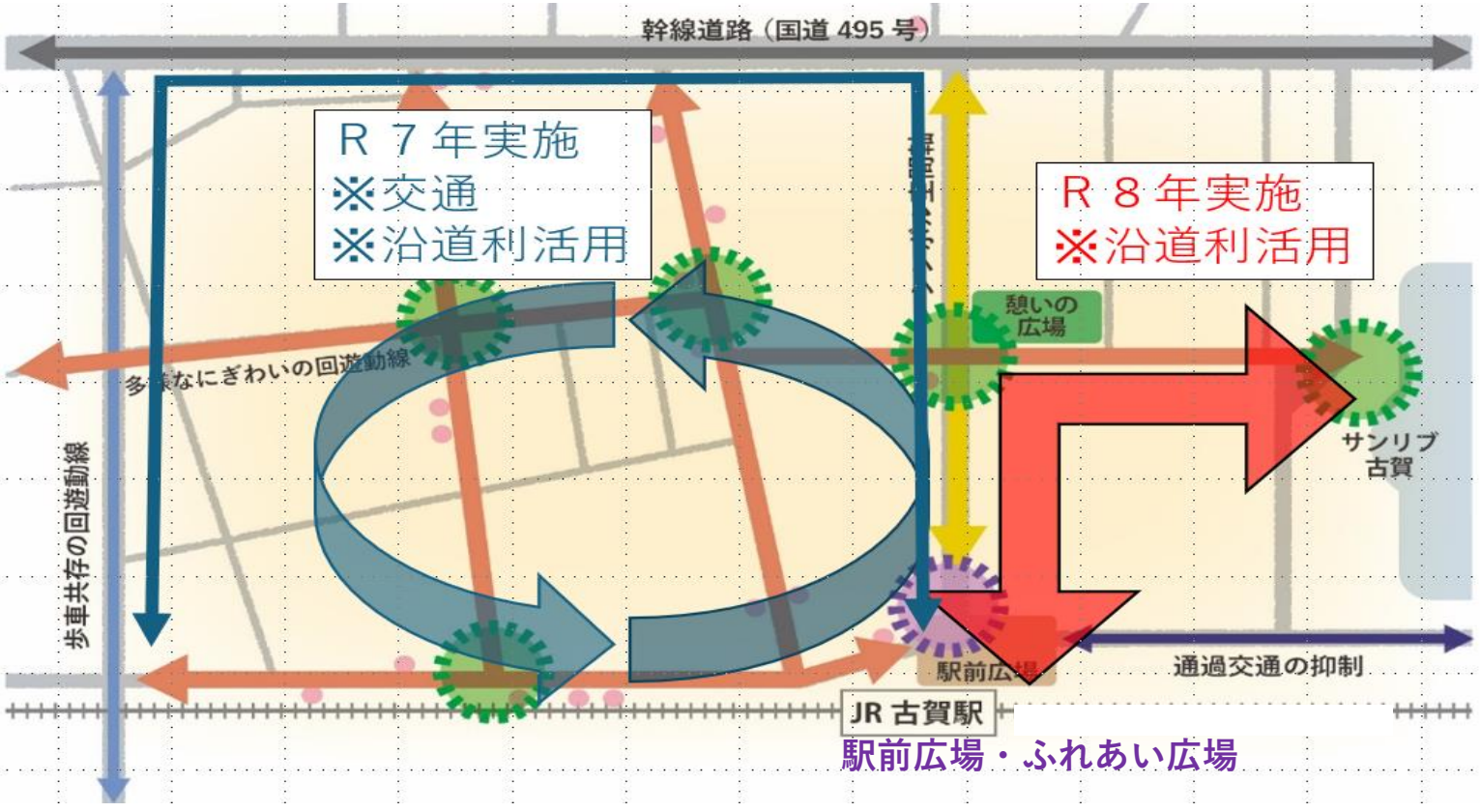
■概要　まちなかの点を活用した賑わい空間の創出やイベントを実施

■目的　**・将来的な賑わいのシーンの創造**

・関係者の機運醸成（プレイヤー発掘、連携強化）

■活用場所　駅前広場～憩いの広場、商工会館～サンリブ古賀

■実験期間　2026年10 月24 日(土)（予備日25日(日)）



1．社会実験について

■令和８年度の社会実験の概要

① 駅前広場・ふれあい広場
　⇒本部、商店街事業者との企画
② 憩いの広場
　⇒カレーフェス
③ 商工会館
④ サンリブ南東側駐車場
⑤ サンリブ1Fホール
　⇒パンまつり
⑥ 県道沿いの民地（可能な範囲）
※③④⑥や各箇所の詳細については検討中



1．社会実験について

【アンケート調査･ヒアリング調査について】
　将来的な整備や今後の取り組みの参考とするため、下記①～③のアンケート調査･ヒアリング調査を実施する

①来場者アンケート調査（社会実験当日）
- 対象：来場者
- 調査方法：紙アンケート
- 内容：イベントの満足度、立ち寄り箇所、歩行者にやさしいまちなかづくりに向けた取組に対する意見

②事業者ヒアリング調査（社会実験後）
- 対象：交通事業者（JR,バス,タクシー）、警察、西口周辺の飲食店や小売店を含む事業者、イベント運営・出店に協力いただいた関係者　等
- 調査方法：聞き取り調査
- 内容：（交通事業者）社会実験の感想、再整備に対する考え
  （警察）社会実験時の事故や規制に対する問合せ・苦情等の有無
  （西口周辺事業者）イベント実施による影響の有無（売上、人通り　等）
  （関係者）次年度以降の継続実施の意向・課題

③地域住民アンケート調査（社会実験前後）
- 対象：古賀市民
- 調査方法：webアンケート
- 内容：西口整備や社会実験等の取組に対する考え、将来の西口に期待すること

2．公共空間オトナ実験室（プレイヤー発掘・連携強化）

現状について

古賀駅西口周辺

・**特定の層に集中する熱量の開放**：
まちづくりの熱量を一部に集中させず、多様な潜在プレイヤーの参画を促す必要がある。
・**公共空間の利活用のハードルを下げる**：
公共空間活用を特別なイベントからハードルを下げ、さらなる参加を促す必要がある。




昨年度の事業について

・**「火種」から多様な市民の巻き込みへ**：
昨年の熱量を特定層に留めず、新たな市民を掘り起こして持続可能な勢いに繋げる。
・**行政実務への着地**：
実験の知見をルールづくり等の行政実務へ着地させ、熱量を西口全体の「鼓動」へと発展させる。




公共空間オトナ実験室 実施ポイント



先行層の勢いはそのままに、役割を「実行」から「助言」へ位置づけ直し、多様な個性が主役になれるフラットな調整基盤を構築します。講座は単なる座学で終わらせず、公共空間で即座に活動を試せる「デビューの場」として設計。分散したプレイヤーの熱量を「火種」から「鼓動」へと昇華させ、自走する仕組みを確立します。

基本的考え方・取組方針

先行層の「火種」を 西口全体の「鼓動」へ

業務の核心は、これまでの社会実験で得られた『熱量』を、一部のプレイヤーだけの特別な活動から、まち全体の『日常の文化』へとアップデートすることです。個人の挑戦が公共空間のルールに守られ、その挑戦がまた新たな参画を呼ぶ。このポジティブな循環を仕組み化することで、行政と市民が手を取り合い、持続的に価値を生み出し続ける西口の風景を『具現化』します。

特に重視する点

個々の「やりたい」を掘り起こし形にする

「こうなりたいのイメージ共有」「個別の対話」「グループチャットの活用」等のステップにより、これまで活動に参加してきたプレイヤーだけでなく、何かをやりたいと考えている潜在層を掘り起こし、西口エリアの活性化に深みをつくります。



講座からのイベント参加の積極的促進

直接的なイベント参加の支援を行うとともに、今後の利用方法についてわかりやすくまとめることにより、潜在層が「検討」から「行動」に移す積極的なサポートを行い、持続可能なにぎわいへと繋げます。



3．まとめ

昨年度生まれた「火種」を西口の「日常的な風景」へ昇華すべく、拠点を面的に活用し、新旧プレイヤーが共創する社会実験を実施

①『日常の延長』としての公共空間体験

昨年度の社会実験で確認された周辺事業者の自発的な「やりたい」という熱量をベースとしながらも、単発的で非日常的な「お祭り」として終わらせるのではなく、今年度はより「西口の日常的な風景」として定着させるためのイベント基盤を企画・設計します。
自動車交通と歩行者交通の役割分担を見据えた将来的な基盤整備に接続できるよう、設えによって滞在快適性を高め、市民が日常的に使いこなせる「街のリビング」へのアップデートを図ることで、持続可能なまちづくりの実証の場とします。




② 拠点をつなぐ「面的な回遊性」の創出

各エリアの特性を活かしたコンテンツを戦略的に配置することで、単一の場所に人が留まるのではなく、西口エリア全体での長時間の滞在と広域的な回遊を促進します。






③ 既存プレイヤーから新規プレイヤーへの波及

昨年度の事業に参画していただいた既存の出店者等に対して継続的な声掛けとサポートを行うとともに、特定のコミュニティに依存しないよう、彼らをハブ（中心）として周辺の潜在的な市民プレイヤーを掘り起こし、新たな参加者を巻き込んでいく仕組みを構築します。



出店準備に活用!!
応援金 最大3万円サポート!※
※ワークショップ全3回参加で出店される方
※備品の一部貸出があります!

古賀駅前を、みんなの「遊び場」に!
公共空間に出店する仲間、大募集!

古賀 駅前まるごと遊び場プロジェクト

公共空間 オトナ実験室

KOKYO-KUKAN OTONA JIKKENSHITSU

はじめての出店
ハンドメイドアクセサリー
スイーツ販売
新たなプレイヤー発掘
趣味を活かしたい
ヨガワークショップ
小さなチャレンジ

参加申込はコチラ

企画づくりから実践まで!

ワークショップに参加して、サポートを受けながら公共空間に「遊び場」をつくりませんか?▶

初めての方も安心! グループでの参加もOKです! 出店される方は応援金として最大3万円のサポートもあり!
また、将来的に出店を考えている方やイベントサポーターとしてのワークショップ参加もOKですよ。

9月5日(土)締切
【各回定員20名/先着順】
※対象/高校生以上

ワークショップ参加から出店の流れ

STEP 01 2026年 9月12日(土) 15:00~(1時間)
公共空間の活用を 妄想 する
◎やりたいことをイメージしよう!
講師 ・藤村 龍至(RFA主宰/東京藝術大学准教授)
・冨山 博史(大牟田ビンテージのまち株式会社 代表取締役)
【会場】古賀市商工会館 2階大会議室

STEP 02 2026年 9月26日(土) 13:00~(2時間)
公共空間の活用を 計画 する
◎イメージしたことができるように計画しよう!
講師 ・木村 隆志(株式会社ダイスプロジェクト シニアマネージャー/まちづくり専門家 ※福岡県登録)
【会場】クリエイトスペース ミラコ



STEP 03 2026年 10月24日(土) ※予備日:25日 10:00~16:00
駅前まるごと遊び場への 実践
【会場】古賀駅前西口周辺
昨年の様子▶



STEP 04 2026年 10月31日(土) 13:00~(2時間)
公共空間の活用実践を 振り返り
◎これからのことを計画しよう!
講師 ・冨山 博史(大牟田ビンテージのまち株式会社 代表取締役)
【会場】クリエイトスペース ミラコ

ワークショップに参加される方は、こちらもぜひご参加ください!

「遊び場」づくりのヒントが満載!
プレミアムな特別講座も開催します!
講座のみの参加も大歓迎です!

お店と公共空間が一体となり、歩道や駅前、公園をみんなで「遊び場」にするヒントを実績豊富な2人の講師から学びます。
【講師】藤村 龍至(RFA主宰/東京藝術大学准教授)/ 冨山 博史(大牟田ビンテージのまち株式会社 代表取締役)


藤村 龍至


冨山 博史

特別講座のお申込はコチラ

日時 2026年 9月12日(土) 13:00~15:00
会場 古賀市商工会館 2階大会議室 (古賀市天神2-1-10)
定員 50名
無料

お問い合わせ
【古賀駅前まるごと遊び場プロジェクト】 古賀市 古賀駅周辺開発推進課 TEL.092-405-3107(直通)/平日 9:00~16:00
【公共空間オトナ実験室】受託事業者:株式会社ダイスプロジェクト 田崎・松井 TEL.092-403-0086/平日 10:00~17:00、メール.info@diceproject.com